

1. 消防組織・体制

1. 消防機関

令和2年4月1日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

| 消防本部 | | | | 消防団 | | |
|------|-----|-----|-------|------|-----|--------|
| 消防本部 | 消防署 | 出張所 | 消防職員数 | 消防団数 | 分団数 | 消防団員数 |
| 31 | 88 | 117 | 8,184 | 48 | 779 | 24,692 |

県下54市町村（37市16町1村）全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、31消防本部のうち23消防本部（22市2町（※）は市町単独で設置し、8消防本部は共同処理による一部事務組合（15市14町1村）を設置している。（※）委託団体含む

消防団は全て非常備消防団である。

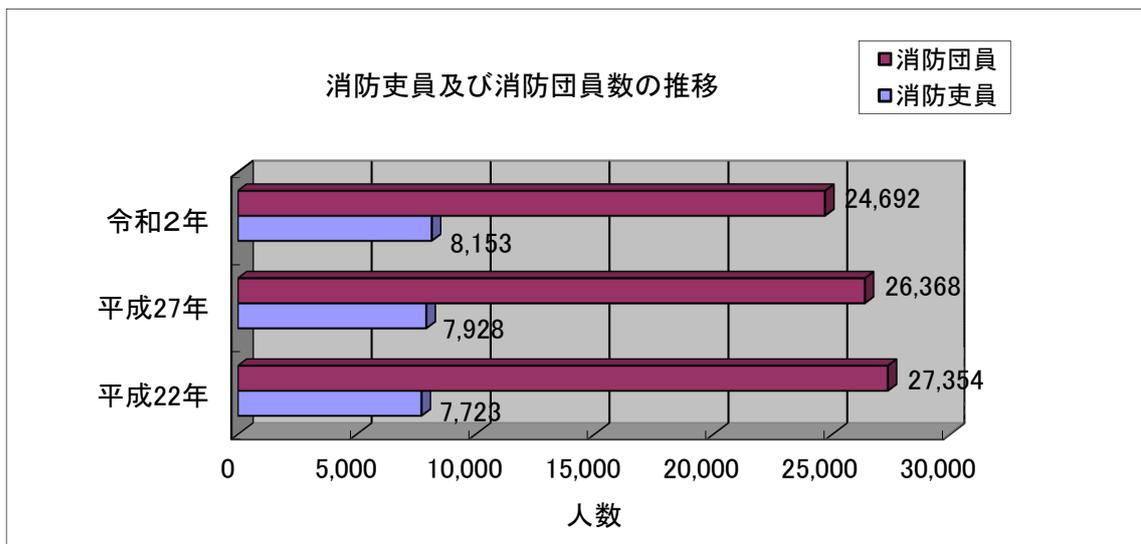
また、火事や救急などの119番通報について、一部の市町村を除き、県内2箇所共同指令センターで受け付けている。

2. 消防の人員

(1) 消防職員

令和2年4月1日現在の消防職員は8,184人、うち消防吏員は8,153人である。

消防吏員数の状況は次のグラフに示すとおりであり、常備消防体制の拡充とともに、増加傾向にある。

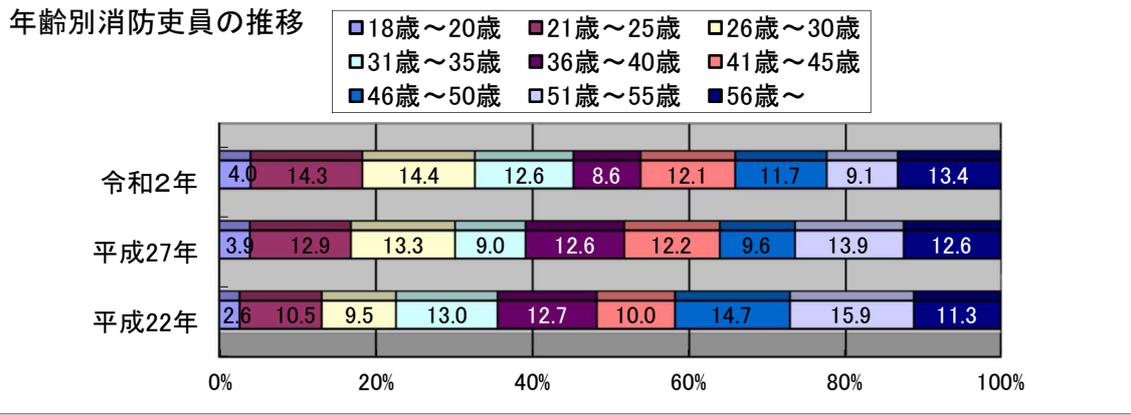


消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。年齢別にみると、26～30歳が14.4%と最も多くなっている。

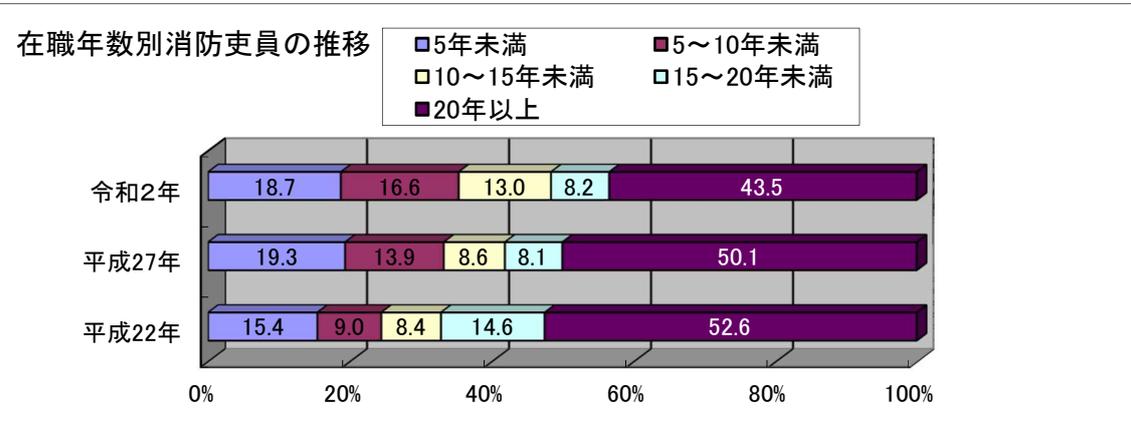
また、消防吏員の平均年齢は38.9歳で昨年から変化はない。

在職年数別にみると、5～10年未満の在職者は18.7%であり10年前のおよそ1.3倍となっている。

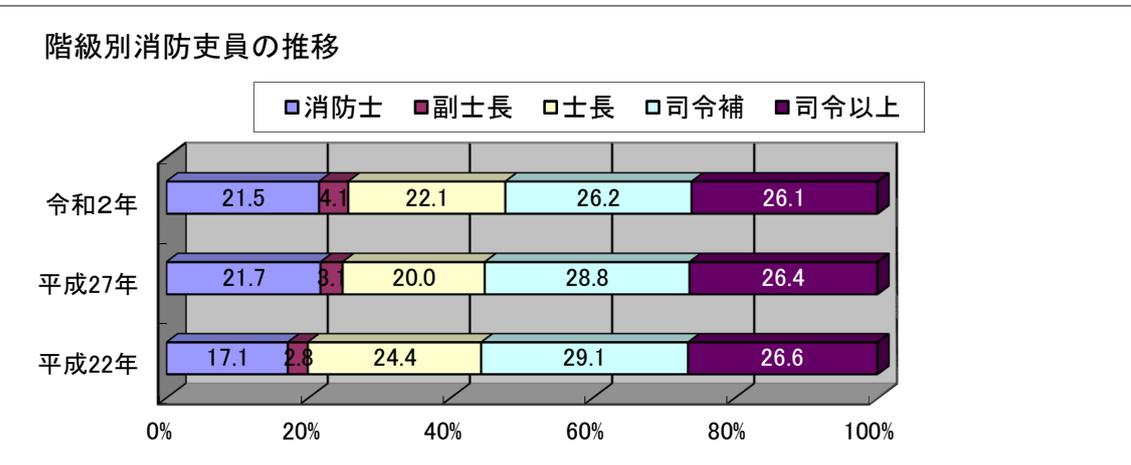
年齢別消防吏員の推移



在職年数別消防吏員の推移



階級別消防吏員の推移



(2) 消防団員

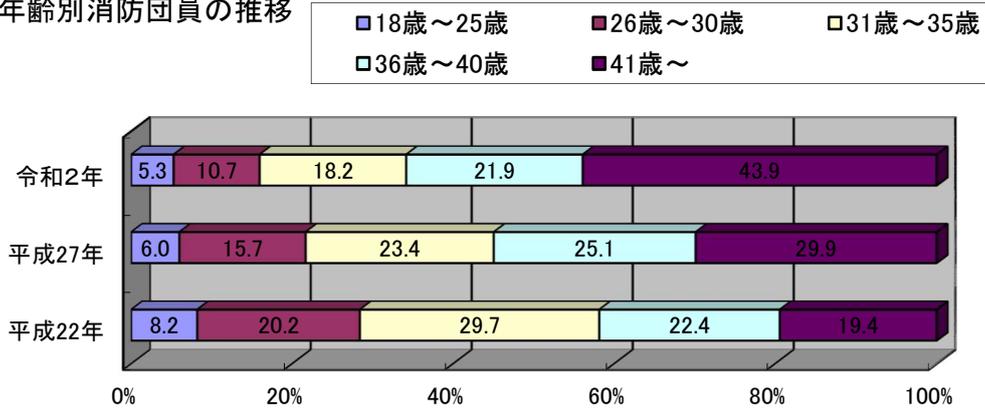
令和2年4月1日現在の消防団員数は24,692人であり、前年と比較して392人減少した。これを10年前と比較すると2,262人減少している。

消防団員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。

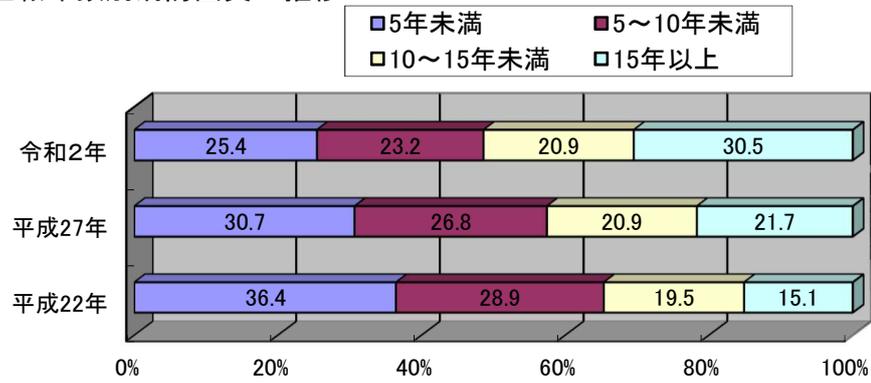
35歳以下の団員が全体の34.2%、在職年数10年未満の団員が全体の48.6%を占めている。

また、団員の平均年齢は39.5歳で、昨年より0.5歳増加している。

年齢別消防団員の推移



在職年数別消防団員の推移



階級別消防団員の推移

